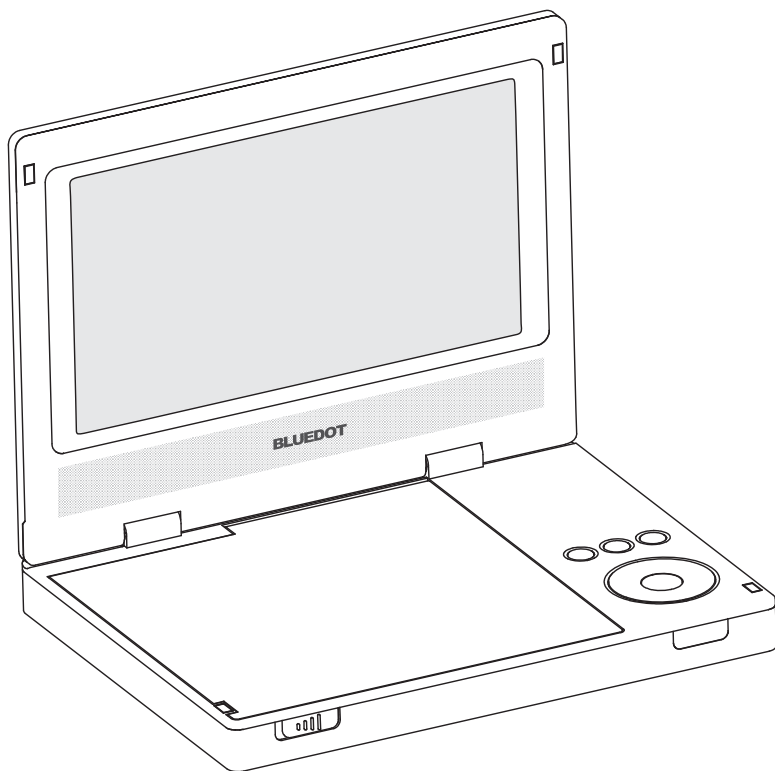


ポータブルDVDプレーヤー

BDP-1740

取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

もくじ

はじめに.....	2	いろいろな再生をする.....	11
もくじ.....	2	DVDのメニュー再生.....	11
お使いになる前に.....	3	字幕を切り換える.....	11
ディスク使用上の注意.....	3	音声を切り換える.....	11
結露について.....	3	サーチ(早送り/早戻し).....	12
用語の説明.....	3	スキップ(飛び越し).....	12
本機で再生できるメディア.....	4	低速再生(スロー再生).....	12
本機で再生できるリージョンコード		27秒送り.....	13
(地域番号).....	4	10秒戻し.....	13
各部の名前.....	5	レジューム機能.....	13
本体.....	5	ズーム再生.....	14
リモコン.....	6	リピート再生(繰り返し).....	14
電源の準備.....	7	ABリピート再生.....	14
ACアダプターで使用する.....	7	プログラム再生.....	15
バッテリーパックを装着する.....	7	再生情報を表示する.....	16
バッテリーパックを取り外す.....	8	初期設定を変更する.....	17
バッテリーパックを充電する.....	8	各種設定を行う.....	17
リモコンの準備.....	9	パスワードを変更する.....	17
保護シートの取り外しと電池交換.....	9	設定内容の説明.....	18
リモコンの操作範囲.....	9	安全にお使いいただくために.....	20
基本的な使いかた.....	10	故障かな?と思ったら.....	23
ディスクをセットする.....	10	技術仕様.....	24
再生を始める.....	10		
停止する.....	10		
一時停止する.....	10		

付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

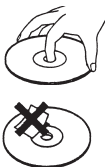
・バッテリーパック	1	・取扱説明書(本書)	1
・リモコン	1	・保証書	1
・ACアダプター	1		

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- ・再生後はディスクケースに保管してください。



ディスクの掃除

再生前に、柔らかくて清潔な布でディスクの記録面に対して中心から放射状に拭いてください。



結露について

本機を寒い場所から温かい場所へ急に移動したり、湿気の多い場所に置いたりすると、湿気がピックアップレンズなどに結露し、故障や再生不良の原因となります。

その場合は、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

用語の説明

タイトル

DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。

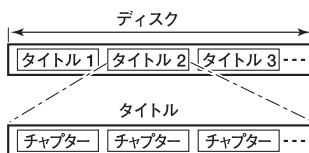
このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

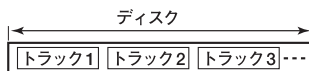
各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。

このような小さな区分けをチャプターといいます。

DVD の構造



CD の構造



トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

種類	ディスク	ロゴ	内容	サイズ
DVDビデオ	再生専用DVD DVD-R DVD-R DL DVD-RW DVD+R DVD+R DL DVD+RW		動画	12cm
				8cm
DVD-VR (CPRMを含む)	DVD-R DVD-R DL DVD-RW		動画	12cm
				8cm
CDDA	再生専用CD CD-R CD-RW		音楽	12cm
				8cm

次のメディアは本機では再生できません

- ◆ ブルーレイ、HD DVD、DVD オーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。
- ◆ AVCHD 方式や AVCREC 方式、HD Rec 方式で記録されたディスクには対応していません。
- ◆ レコーダーで録画した DVD で、ファイナライズされていないディスクには対応していません。
- ◆ データディスクの再生は保証していません。
- ◆ USB メモリーやメモリーカードには対応していません。
- ◆ コピーコントロール CD などの特殊なディスクは再生できない場合があります。
- ◆ ディスクの記録状態やフォーマット、製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

DVD ビデオ及び DVD 再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。市販の DVD ビデオは、DVD 再生機器のリージョンコードと一致しないと再生できません。

日本国内のリージョンコードは“2”です。

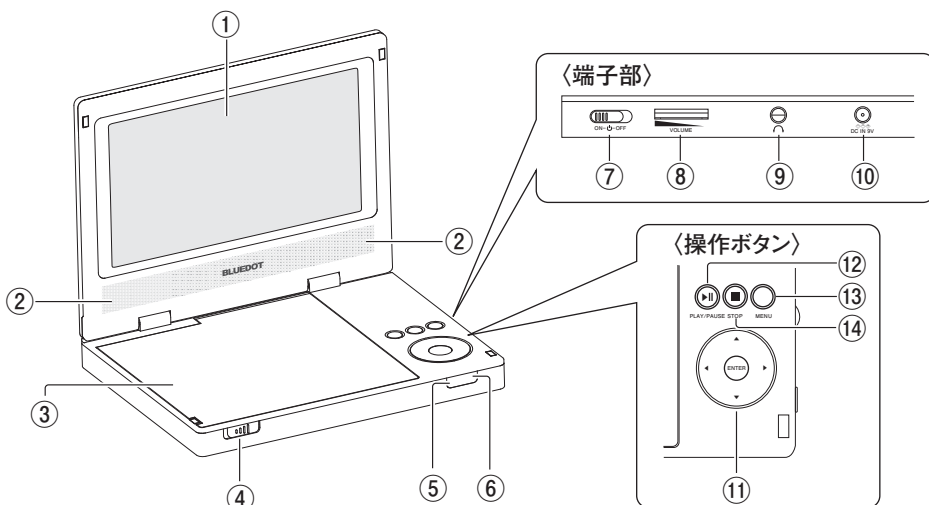
本機のリージョンコードも“2”に設定されており、DVD のケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。

※ リージョン“ALL”はリージョン“0”と表現されていることがあります。



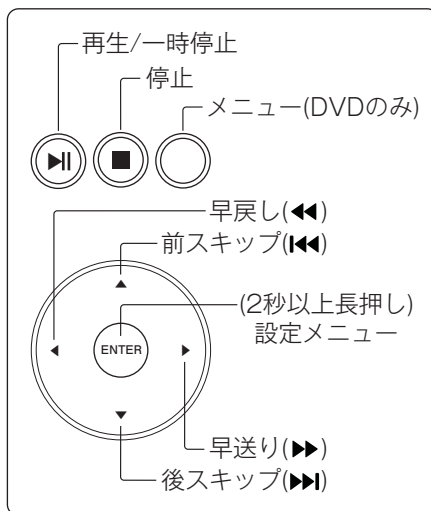
各部の名前

本体

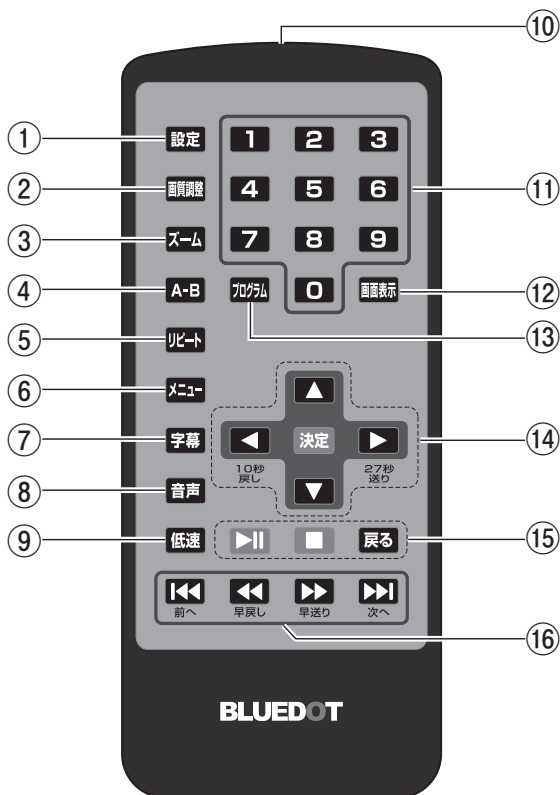


- ① 液晶パネル
- ② スピーカー
- ③ ディスクトレイ
- ④ オープン(OPEN)レバー
- ⑤ 充電(CHG)ランプ
- ⑥ リモコン受光部
- ⑦ 電源スイッチ
- ⑧ 音量つまみ
- ⑨ (ヘッドホン端子)
- ⑩ 電源入力端子
- ⑪ 上/下/左/右方向ボタン
決定(ENTER)ボタン
- ⑫ 再生/一時停止(▶||)ボタン
- ⑬ メニューボタン
- ⑭ 停止(■)ボタン

DVD/CD再生中の操作



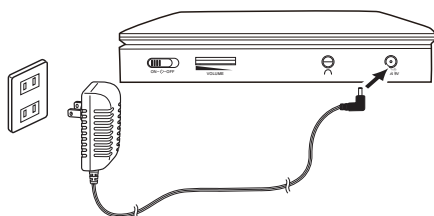
リモコン



- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 設定ボタン | ⑫ 画面表示ボタン |
| ② 画質調整ボタン | ⑬ プログラムボタン |
| ③ ズームボタン | ⑭ 上/下/左/右方向ボタン |
| ④ A-B リピートボタン | 決定ボタン |
| ⑤ リピートボタン | ※再生中 右方向ボタン:27秒送り |
| ⑥ メニューボタン | 再生中 左方向ボタン:10秒戻し |
| ⑦ 字幕ボタン | ⑮ ▶ :再生/一時停止ボタン |
| ⑧ 音声ボタン | ■:停止ボタン |
| ⑨ 低速ボタン | 戻る:戻るボタン |
| ⑩ リモコン送信部 | ⑯ サーチ/スキップボタン |
| ⑪ 数字入力ボタン | |

電源の準備

ACアダプターで使用する



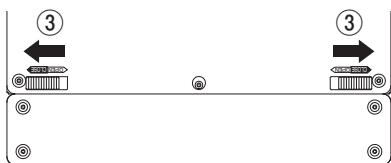
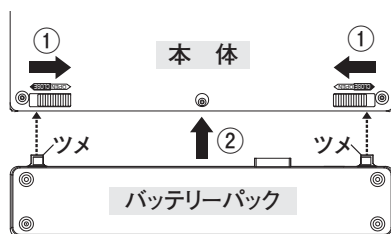
付属のACアダプター

- ◆ 付属のACアダプターを本機の電源入力(DC IN 9V)端子に接続します。
- ◆ 付属のACアダプターは交流100V～240Vに対応しています。(保証対象は国内での交流100V使用のみとなります。)



- 必ず付属のACアダプターをご使用ください。
- 指定の電圧以外では使わないでください。
- ACアダプターを取り外す前に、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。

バッテリーパックを装着する

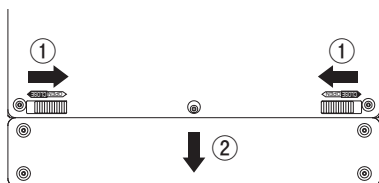


- ① 本体底面の左右のロックレバーを内側に向けてスライドさせます。
- ② ツメと穴を合わせるようにしてバッテリーパックを本体に装着します。
- ③ ロックレバーを外側に向けて最後までスライドさせてバッテリーをしっかりロックします。



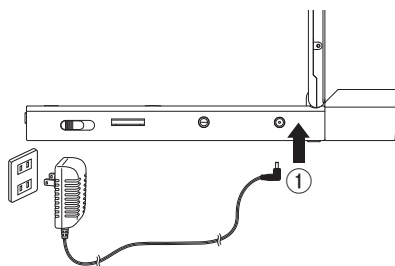
- ③のロックが緩いとバッテリーパックが外れて破損の原因になったり、ツメが折れる原因になります。
- 装着したまま本体を持ち運ぶ際、バッテリーパック部分だけに手を掛けて移動しないでください。
バッテリーパックの破損の原因となります

バッテリーパックを取り外す



- ① 本体底面の左右のロックレバーを内側に向けてスライドさせる。
- ② バッテリーパックを矢印の方向に引き抜いて取り外す。

バッテリーパックを充電する



- ① バッテリーパックを装着した状態で、ACアダプターを接続する。
- ◆ 充電が始まり、充電(CHG)ランプが点灯します。
- ◆ 充電が完了すると充電ランプが消灯します。
- ※ 充電時間は約3時間30分です。
- ※ 充放電回数の目安は約500回です。



- **注意** バッテリーの劣化抑制のため、充電は必ず5～35℃の温度範囲内で行ってください。範囲外で充電するとバッテリーの劣化が進行したり、事故の原因になる可能性があります。

バッテリー残量表示について

LOW BATTERY

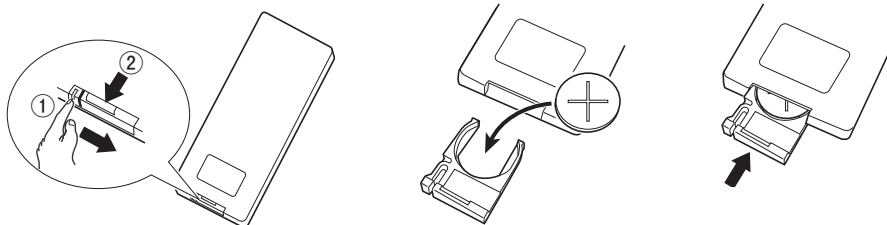
- ◆ 充電電池の残りが少なくなると、画面左上に「LOW BATTERY」が表示されます。
- ◆ 工場出荷時はバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に上の手順で充電してください。

リモコンの準備

保護シートの取り外しと電池交換

工場出荷時にはすでに電池がセットされていますが、放電しないようにプラスチック製の保護シートがはさまれています。ご使用前に保護シートを丁寧に引き出してください。
また、電池を交換するときは、次の手順で交換してください。

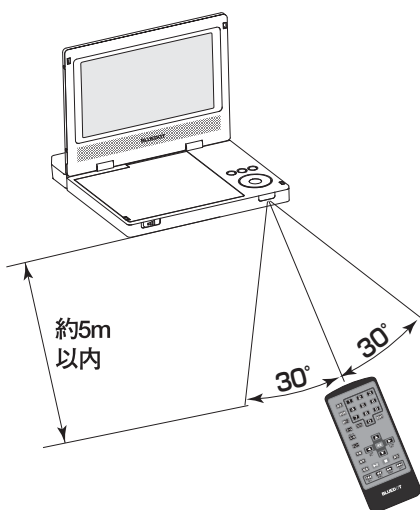
1. 電池ホルダーを外す 2. 電池を入れ換える 3. 元に戻す



①の部分にツメを掛けて矢印の方向へ押しながら、②の部分にツメを掛けて引き出します。

◆ 電池を交換するときは「リチウム電池 CR2025」をご使用ください。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。



注意 リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

基本的な使いかた

 DVDの操作	 CDの操作
--	---

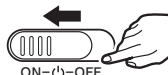
ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする

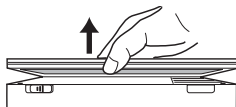
1 電源の準備をする。

7～8ページを参照。

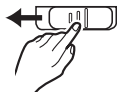
2 電源スイッチをオンにする。



3 カバーの手前を持って、カバーを開ける。

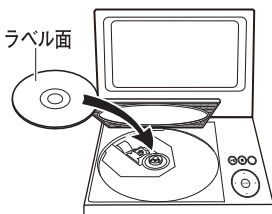


4 オープン (OPEN) レバーを左にスライドさせてディスクトレイカバーを開ける。



5 ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、中心軸にカチッと固定されるようにセットします。



6 ディスクトレイカバーを閉める。

ディスクトレイカバーの手前を押して、カチッとロックするまでしっかり閉めます。

再生を始める

▶ 再生/一時停止 (▶||) ボタンを押す。



- ◆ ディスクをセットしてディスクトレイカバーを閉めると自動的に再生が始まります。
- ◆ DVDによってはメニュー画面が表示される場合があります。その場合は方向ボタンや決定ボタンでメニューの内容を選んでください。

停止する

▶ 停止 (■) ボタンを1回押す。



- ◆  マークが表示されます。再生/一時停止 (▶||) と、停止した位置から通常再生を開始します。
- ◆ 完全に停止する場合は停止 (■) ボタンを2回押します。

一時停止する

▶ 再生中に再生/一時停止 (▶||) ボタンを押す。



- ◆ 一時停止中に再生/一時停止 (▶||) ボタンを押すと通常再生に戻ります。

操作禁止マークについて

DVD では、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。その場合は右図のマークが表示されます。



いろいろな再生をする

DVDのメニュー再生

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

1 メニューボタンを押す。



◆ 一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2 方向(▲/▼/◀/▶)ボタンや決定ボタンでメニューの内容を選ぶ。

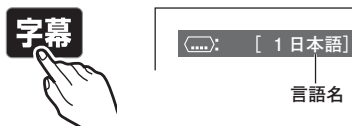
◆ 操作方法はディスクによって異なります。ディスクの添付紙などをご参照ください。

字幕を切り換える

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

▶ 字幕ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。



◆ 字幕を表示させたくないときは、字幕ボタンを繰り返し押して字幕をオフにします。

◆ 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を切り換えることはできません。

音声を切り換える

ディスクに複数の音声記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

▶ 音声ボタンを押す。

押すごとに、音声切り換わります。



◆ 音声1つしか記録されていないディスクでは、音声を切り換えることはできません。

◆ 録画ディスクで二ヶ国語放送の音声を切り換える場合は、設定>デジタル設定>ステレオモード>モノラル左またはモノラル右を選びます(17、19ページ参照)。

サーチ(早送り/早戻し)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

▶ サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、4段階で再生速度が変わります。



×2→×4→×8
→×20→通常再生

- ◆ 本体の左方向(◀◀)ボタンを押すと◀◀(早戻し)、右方向(▶▶)ボタンを押すと▶▶(早送り)の操作ができます。
- ◆ サーチ中に再生/一時停止(▶▶||)ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- ◆ 速度表示の数値は目安です。

スキップ(飛び越し)

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

▶ スキップ(I◀◀/▶▶I)ボタンを押す。

▶▶Iボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。



I◀◀ボタンを押す

1回押すと、再生中の1つ前のチャプターまたはトラックに戻ります。



- ◆ 本体の上方向(▲)ボタンを押すとI◀◀(前スキップ)、下方向(▼)ボタンを押すと▶▶I(後スキップ)の操作ができます。

低速再生(スロー再生)

ディスクを低速再生することができます。

▶ 低速ボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。



1/2→1/3→1/4→1/5
→1/6→1/7→通常再生

- ◆ 低速再生中に再生/一時停止(▶▶||)ボタンを押すと通常再生に戻ります。
- ◆ 速度表示の数値は目安です。

27 秒送り

27 秒先に飛び越すことができます。

▶ リモコンの右方向(▶) ボタンを押す。

押すごとに、約 27 秒先に飛び越します。



◆ CM を飛び越す場合に使うと便利です。CM が 1 分以上続くときは複数回押します。



本体の右方向(▶) ボタンでは操作できません。

10 秒戻し

27 秒送りや早送りで先へ行きすぎた場合に 10 秒間戻ることができます。

▶ リモコンの左方向(◀) ボタンを押す。

押すごとに、約 10 秒前に戻ります。



本体の左方向(◀) ボタンでは操作できません。

レジューム機能

再生中に電源を切った後、もう一度電源を入れると続きから再生することができます。

- 1** ディスクの再生中に電源スイッチをオフにする。
- 2** 電源オンにすると、中断した位置から再生が始まります。

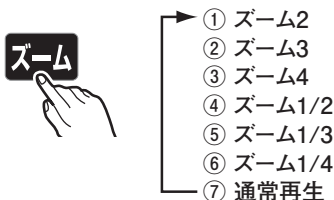
- ◆ 再生位置の情報は DVD で 3 枚分まで記憶できます。4 枚目の DVD の情報を記憶すると最も古い情報から記憶が削除されます。
- ◆ 停止 (■) ボタンを 2 回押してディスクを完全に停止すると停止位置の記憶が削除されます。
- ◆ スキップボタンなどでジャンプした直後に電源をオフにするなど、シーンを記憶する時間が短すぎると記憶できない場合があります。

ズーム再生

映像を拡大、または縮小することができます。

▶ ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



◆ 拡大表示のとき、方向(▲/▼/◀/▶)ボタンを押すと、表示位置を移動することができます。

◆ ズームボタンを繰り返し押して表示を消すと、通常再生に戻ります。

◆ 数値は倍率の大小を示すもので、実際の倍率を示すものではありません。

リピート再生(繰り返し)

ディスク全体やタイトル、チャプター、トラックなどを繰り返し再生することができます。

▶ リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

DVD 再生時



CD 再生時



◆ リピートボタンを繰り返し押してリピートをオフにすると、再生中のチャプターまたはトラックから通常再生に戻ります。

◆ ディスクによっては操作できないことがあります。

AB リピート再生

再生中に自分で指定した区間を繰り返し再生することができます。

1 リピートを開始させる場所で、
A-B ボタンを押す。



2 リピートを終了させる場所で、
もう一度 A-B ボタンを押す。



◆ 指定した区間を繰り返し再生します。

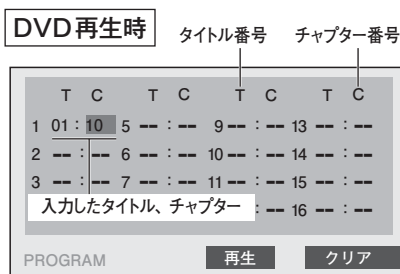
◆ A-B ボタンを繰り返し押して表示を A-B オフにすると、再生中の位置から通常再生に戻ります。

プログラム再生

ディスクのチャプターやトラックを、好きな順にプログラムして再生することができます。
プログラムは16チャプター（トラック）まで登録することができます。

1 プログラムボタンを押す。

2 再生したいタイトルとチャプター、またはトラック番号を入力する。



- ◆ カーソル(反転表示)がプログラム番号「1」にあることを確認して、タイトル番号、右方向(▶)ボタン、チャプター番号の順に入力します。

(例)

タイトル3、チャプター5を指定

→「0、3、▶ボタン、0、5」の順に押す。

タイトル23、チャプター20を指定

→「2、3、▶ボタン、2、0」の順に押す。

- ◆ 2番目のプログラムを入力するときには方向(▲/▼/◀/▶)ボタンでプログラム番号「2」にカーソルを移動します。
- ◆ 登録を消す場合はカーソルを「クリア」に移動し、決定ボタンを押します。

- ◆ 上/下/右方向ボタン(▲/▼/▶)ボタンで登録したいトラックを選択し、決定ボタンを押します。
- ◆ 同じ方法で次に再生したいトラックを登録し、この操作を繰り返します。
- ◆ 画面左の登録リストでゴミ箱のマークを選ぶか、登録したトラックの上で決定ボタンを押すと、登録を消すことができます。

3 カーソルを「再生」に移動し、決定ボタンを押す。

3 左方向(◀)ボタンで登録リストに移動し、▶にカーソルを合わせて決定ボタンを押す。

- ◆ プログラムした順に再生が始まります。
- ◆ 後スキップ(▶▶)ボタンを押すとプログラムされた順にチャプター（トラック）を飛び越します。
- ◆ サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押すと早戻し、早送りができます。
- ◆ 電源をオフにすると、すべてのプログラムが解除されます。

再生情報を表示する

タイトルやチャプター、トラックの位置や音声 / 字幕言語など、再生中の映像や音楽の情報を確認することができます。

▶ 画面表示ボタンを押す。

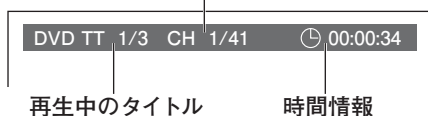
押すごとに表示内容が切り換わります。

DVD 再生時

画面表示

- 
- ① タイトル/チャプター/時間
 - ② 音声/字幕/アングル
 - ③ 表示オフ

〈①の画面〉 再生中のチャプター



〈②の画面〉 再生中の字幕



CD 再生時

画面表示

- 
- ① トラック/時間
 - ② 表示オフ

〈①の画面〉 リピート情報



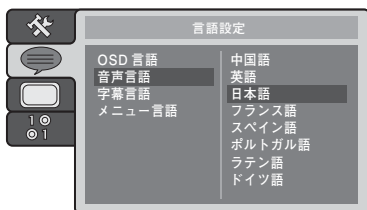
初期設定を変更する

各種設定を行う

1 設定ボタンを押す。



2 上下方向(▲/▼)ボタンで大分類を選び、右方向(▶)ボタンで決定する。



3 上下方向(▲/▼)ボタンで項目を選び、右方向(▶)ボタンで決定する。

上図の例では「言語設定」の「音声言語」を選んでいます。

4 上下方向(▲/▼)ボタンで選択肢を選び、決定ボタンで決定する。

5 設定ボタンを押す。

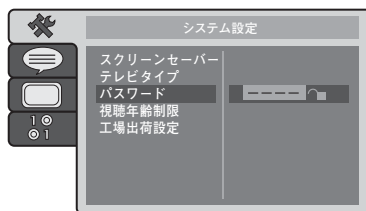
設定画面を終了します。

パスワードを変更する

1 設定ボタンを押す。

2 「システム設定」で右方向(▶)ボタンを押す。

3 下方向(▼)ボタンで「パスワード」を選び、右方向(▶)ボタンを押す。



4 設定したいパスワード(数字4ケタ)を入力し、決定ボタンを押す。

- ◆ カギがロックされたマークになり、視聴制限設定を変更できなくなります。
- ◆ パスワードの設定を解除するには、もう一度設定したパスワードを入力してください。



パスワードを忘れると解除できなくなりますので、メモして残してください。

--	--	--	--

5 設定ボタンを押す。

設定画面を終了します。

設定内容の説明

本機では、画質調整やDVD言語など、様々な設定を行うことができます。

設定内容は次のようになっています。

()で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

▶▶ システム設定

スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの オン またはオフを選択します。 スクリーンセーバーをオンにすると約15分間操作がなかった場合、スクリーンセーバー画面になります。
テレビタイプ	画面を縦横に伸縮します。 16:9 16:9の映像を画面いっぱいに表示します。 4:3 PS 4:3の映像を16:9の画面いっぱいに引き伸ばします。 4:3 LB 4:3の映像の上下に余白を入れて表示します。 ※ディスクによっては切り換わらない場合があります。
パスワード	「視聴年齢制限」のパスワードを設定をするときに選択します。 ロック状態にすると視聴年齢制限のレベルを変更できなくなります。 (設定方法は17ページを参照。)
視聴年齢制限	子どもに見せたくないディスクなどのレベルを設定します。ディスクによってはこの設定が有効にならない場合があります。 例えば 5. PG-Rに設定すると 6. R以上のレベルは再生できなくなりますが、そもそもディスクに規制レベルが設定されていない場合は、この設定は機能しません。 1. KID SAFE、2. G、3. PG、4. PG-13、5. PG-R、6. R、7. NC-17、8. ADULT から選択します。
工場出荷設定	工場出荷時の設定に戻します。

▶▶ 言語設定

OSD言語	表示言語(日本語)を選択します。
音声言語 字幕言語 メニュー言語	音声、字幕、メニュー言語のそれぞれで、再生時の言語を選択します。 ディスクに記録されている指定言語が、この設定よりも優先されます。 特に指定言語が記録されていないときは、この設定にしたがいます。 設定可能言語: 中国語、英語、日本語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ラテン語、ドイツ語 ※ 工場出荷時は音声、メニューが「 日本語 」、字幕は「 オフ 」に設定されています。 ※ ディスクによっては設定が反映されない場合があります。 ※ 設定可能言語にご希望の言語がなくてもDVDディスクのメニュー画面から指定することができます。

▶▶ 映像設定

明るさ	液晶画面の明るさを0～12の間で設定します。 決定ボタンで選択し、上下方向(▲/▼)ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと前のメニューに戻ります。
コントラスト	液晶画面のコントラストを0～12の間で設定します。 決定ボタンで選択し、上下方向(▲/▼)ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと前のメニューに戻ります。
色合い	液晶画面の色合いを-6～+6の間で設定します。 決定ボタンで選択し、上下方向(▲/▼)ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと前のメニューに戻ります。
彩度	液晶画面の彩度を0～12の間で設定します。 決定ボタンで選択し、上下方向(▲/▼)ボタンで調節します。 再び決定ボタンを押すと前のメニューに戻ります。

▶▶ デジタル設定

ダイナミックレンジ	ドルビーデジタルディスクを再生するとき、最大音量と最小音量の幅を圧縮して、小音量でも音声を聞き取りやすくすることができます。 OFFが圧縮無しで、FULLがダイナミックレンジを最大限圧縮します。
ステレオモード	左右チャンネルの出力方法を設定します。 ステレオ：ステレオで出力されます。 モノラル左：左右のチャンネルに左チャンネルの音声出力されます。 モノラル右：左右のチャンネルに右チャンネルの音声出力されます。 ミックスモノラル：各チャンネルをモノラルにミックスします。

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		記号は、禁止される行為を表しています。
		記号は、行わなければならないことを表しています。

警告



プラグ
を抜く

異常な状態が見つかったら

煙が出たり、変なおいや音がするなどの異常が見つかった場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。



ACアダプターやバッテリーパックは必ず付属品を使う。

指定以外のものを使用すると、火災や破損の原因となります。



禁止

ひざの上で長時間使用しない。

本体の底面が温くなり、長時間触れていると低温やけどの原因となります。



禁止

付属のACアダプターはAC100～240V、50/60Hz以外の電源で 使用しない。

指定以外の電圧で使用すると、火災や感電、破損の原因となります。

また、海外での使用で故障した場合は、保証対象外となります。



バッテリーは指定の方法で充電する。

間違った方法や電圧、温度範囲で充電すると、劣化や液漏れ、破裂、火災などの原因となります。



電源コードは正しく抜き差しする。

- ・濡れた手で抜き差しをしない。
 - ・電源プラグを持って抜き差しし、コードは引っ張らない。
 - ・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
 - ・ほこりや汚れを付けたまま使用しない。
- 火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしない。
 - ・上に重いものを載せない。
 - ・ステーブルなどでとめない。
 - ・熱器具に近付けたり、加熱したりしない。
- コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

バッテリーは火中投入、加熱したり、高温下で放置、充電、使用しない。

液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。



警告



禁止

レーザー光線は絶対にのぞかない。
ディスクの読み取りには、レーザー光線を使用しています。本体ケースを開けたり、本書の記載によらない操作を行って、レーザー光線を直接のぞかないでください。視力障害の原因になる場合があります。



禁止

次のような場所には置かない。

- ・ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。
- ・ 風呂場など、湿気やほこりの多い場所。
- ・ 加湿器のそばなど、煙や湯気が出る場所。
- ・ 窓を閉めきった車の中、ダッシュボードの上や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。
- ・ 花瓶やコップのそばなど、水がかかりやすい場所。

本体が落下して破損したり、熱や水滴による破損や火災、感電の原因となります。



禁止

布や布団で覆わない。

本体やACアダプターなどを、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもると、ケースの変形や火災の原因となります。



禁止

内部に異物や水などを入れない。

本体やACアダプターなどの内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、液体をこぼしたりしないでください。火災や感電、破損の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない

落としたり強い衝撃を与えたりして本体が破損した場合は、まず本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。その後、弊社サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。また、弊社で責任を負うことができず、保証対象外となります。



禁止

運転中は絶対に使用しない。

車や自転車、オートバイなどを運転しながらまたは歩行しながらの視聴は、絶対におやめください。また運転中、運転手以外の方が視聴する場合は、運転の妨げとならないよう、音量などに注意してください。重大な交通事故の原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に置く。

本体の開閉時に指を挟んでけがをしたり、ボタン電池などの部品を飲み込んで窒息したり中毒になる恐れがあります。万一何かを飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。



禁止

雷が鳴り始めたら

本体やACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。



プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグを抜く

お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電や破損の原因となります。

注意



プラグ
を抜く

移動するときは全ての接続を外す。

ACアダプターなどを外してから移動してください。
コードが破損すると、火災や感電の原因となります。



禁止

機器の上に重いものを載せない。

機器の上に重いものを載せないでください。また、機器の上に乗らないでください。
破損やけがの原因となります。



ボタン電池は指定のものを使用する。

リモコンの電池は必ず「CR2025」を使用してください。また、＋極と－極の向きに注意して、正しく交換してください。
火災や破損、液漏れの原因となります。



ディスクは回転が完全に止まってから取り外す。

けがの原因となります。
また、ディスクが傷つく恐れがあります。



禁止

破損または変形したディスクは使用しない。

本体を傷つけたり、本体内部に破片が飛び散ったりする恐れがあります。また、ディスクをさらに傷つける恐れがあります。



音量は徐々に大きくする。

電源をオンにする前やヘッドホンを抜き差しする前には、あらかじめ音量を小さくしてください。
突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となります。



禁止

大音量で長時間続けて聞かない。

耳を刺激するような大音量で長時間続けて音を聞くと、聴力障害の原因となります。
ヘッドホンを使用するときは特に注意してください。



禁止

映像を長時間続けて見ない。

映像を長時間続けて見ると、視力障害の原因となります。また、目だけでなく体の一部に疲労感や痛みが出る恐れがあります。
そのときは使用を中断して、しばらく休息をとってください。
万一休息しても回復しない場合は、すぐに医師に相談してください。

データの破損について

お客様の取り扱いや、静電気、電氣的ノイズ、衝撃、または機器の故障により、ディスクやデータが破損した場合の損害については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障かな？と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応
電源がオンにならない。	・ 本機とACアダプター、コンセントとの接続が確実か、ご確認ください。 ・ バッテリーパックは、あらかじめ充電してからご使用ください。 ・ 高温 / 低温下では使用できない場合があります。 ・ 本機の電源スイッチがオフになっていないか、ご確認ください。
ディスクが再生できない。	・ ディスクをクリーニングしてから再度お試しください。 ・ 本機で再生できる規格のディスクか、ご確認ください。 ・ テレビ番組を録画したDVDは、ファイナライズ処理を施してください。 ・ トレイ内でディスクがしっかりと固定されているか、ご確認ください。 ・ ディスクはラベル面を上にして固定してください。 ・ 本機が結露しているときはディスクを取り出し、電源スイッチをオフにし、乾燥した場所で結露がなくなるまで放置してください。
音が出ない。 音が小さい。	・ 本機の音量(ボリューム)が最小になっていないか、ご確認ください。 ・ ヘッドホンが差し込まれたままになっていないか、ご確認ください。 ・ DTS形式の音声には対応していません。 ・ イヤホンのインピーダンスが高すぎる。または音圧感度が低すぎる可能性があります。イヤホンはインピーダンス 32Ω 以下、音圧感度はできるだけ高いものをご使用ください。
音質が悪い。	・ ディスクに収録されている音声の音質に問題はないか、または録音レベルが高すぎないか、ご確認ください。 ・ 本機に電波の発するものを近づけると、雑音が入ることがあります。 ・ 音量を上げると歪む場合は音量を下げてください。
リモコンが効かない。	・ 工場出荷時は、電池が放電しないように保護シートが挟まれています。この保護シートを丁寧に引き出してから使用してください。 ・ 本機の電源スイッチがオフになっていないか、ご確認ください。 ・ リモコン送信部を本機の受光部に向けて操作してください。 ・ リモコンと本機の間に障害物を取り除いてください。 ・ 電池を新しいものと交換してください。
バッテリーを 充電できない。 動作時間が短い。	・ バッテリーパックと本体が正しく接続されているか、充電方法が正しいか、ご確認ください。 ・ バッテリーパックは必ず 5 ~ 35℃ の温度範囲で充電してください。範囲外ではバッテリーが劣化したり、事故の原因になる可能性があります。 ・ 高温 / 低温下では充電ができなかったり、充電・放電時間が変動する可能性があります。 ・ 長時間ご使用にならなかった場合、動作時間が短くなる場合があります。充分充電を繰り返すと回復する可能性があります。 ・ バッテリーの寿命の可能性があります。新しいバッテリーパックと交換してください。

技術仕様

型名	BDP-1740
画面サイズ	7インチワイド
画面画素数(水平×垂直)	800×480×3 (RGB)画素
外形寸法(幅×奥行×高さ)	190×144×25mm (バッテリー未装着、突起部含まず) 190×180×25mm (バッテリー装着、突起部含まず)
本体質量	約610g (バッテリーパックを含まず) 約765g (バッテリーパックを含む)
バッテリー連続再生時間	約5時間
バッテリー充電時間	約3時間30分
電源	充電式バッテリーパック ACアダプター (DC9V 2.2A, 100～240V対応)
消費電力	20W以下
許容動作温度/充電温度	5～35℃
入出力端子	ヘッドホン端子×1、電源入力端子×1

- ※ バッテリー連続再生時間は画質標準、イヤホン使用、音量弊社基準値での参考値です。
- ※ バッテリー充電時間は電源オフ時の参考値です。
- ※ バッテリーの充電、再生時間は使用温度などの周囲環境により変動します。
- ※ 液晶パネルは高い精度の技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素が生じる場合があります。必ずしも故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

著作権について

- ◆ 著作物を無断で複製、放送、有線放送、上映、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)などを行なうことは、法律により禁止されています。
- ◆ 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ◆ Dolby、ドルビー、およびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ◆ DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンスの商標です。



バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは廃棄せずに、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際は、金属端子部にセロハンテープなどを貼って絶縁してください。
バッテリーパックの回収、リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページ(<http://www.jbrc.com>)を参照してください。

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

困ったときは・・・

- p.23の「故障かな?と思ったら」をご確認ください。
- 弊社ホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご確認ください。
<http://www.bluedot.co.jp/support/>
- お客様サポートセンターにご連絡ください。

BLUEDOTお客様サポートセンター

TEL:0570-010080(ナビダイヤル)

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は043-295-8882まで

※ご利用時間は10:00～17:00(土、日、祝日、会社指定休日を除く)

FAX:043-295-8852

E-mail: support@bluedot.co.jp

BLUEDOT[®] 株式会社

〒267-0056 千葉県千葉市緑区大野台2-3-1

E-mail : info@bluedot.co.jp

ホームページ : <http://www.bluedot.co.jp/>